

池田記念美術館  
IKEEDA ART MUSEUM

# イケビふれあい通信

2022  
夏号  
No.109

## ◆八海山夢展の季節到来

7月16日～8月29日まで第23回八海山夢展を開催します。

池田記念美術館が開館したのが1998年10月で、八海山夢展が始まったのは2000年8月。第1回展の時は実行委員長を亡くなった小島不二雄さん(絵画)が務めており、「八海山をテーマに地域の美術振興を図る」という趣旨で始まりました。現在は和田芳山さん(書道)が実行委員長を務めています。私は第3回展から関わってきましたが、部門を増やし参加者数も約1.5倍に増加。地域も広がり、南魚沼市だけでなく魚沼市や湯沢町からの出展も増えています。また、八海山のみという縛りをなくし、パリエティに富んだ作品が見られるよう改善してきました。



八海山夢展のポスター使用写真(撮影:酒井建)

ました。

ただ課題もあり、出展者と来場者共通ですが、若い世代の参加が少なく感じます。今後は、老若男女、地域を問わず、愛される展覧会に成長できればいいと思います。

(広田かおり)

## ◆自然のありがたさ

大雪で閉ざされていた魚沼が、初夏の季節になりました。雪が一気に溶けたと思つたら、今度は一斉に花が咲き、爽やかな新緑が心や目に潤いをくれます。農作業の方の邪魔にならないようにと通行を遠慮していた農道を久しぶりに通ってみました。田植えの終わった水田に八海山が逆さまに写り、その美しさに思わずため息がでるような感動を覚えました。今しか見ることができない、この地方独特の景色だと、雪国の自然に感謝しています。

美術館のスロープの水の流れを見ながら水音を聞いていると心地良く癒されます。エントランスからの景色も絶景です。残雪の山と公園の木々の新緑や花、湖面に映る逆さ八海山。恵まれた環境の中で幸せを感じています。気温差で体調を崩した方や年度替わりでお疲れの方も多いことでしょう。天候によっても色んな表情が見られる八色の森公園や美術館でリフレッシュしませんか。(佐藤良子)

## ◆健康づくりをサポート

今年度、イケビでは南魚沼市と連携し、南魚沼市在住、在勤、在学する18歳以上の方を限定に電動アシスト付き自転車のレンタル

『サポチャリ』を始めました。レンタサイクルルサービスによる市民の自転車利用促進を図るとともに、市民と自転車と健康づくりの持続可能な共生社会の実現を目的とした二スズの調査や分析を行います。

料金は1日300円、1泊2日が500円になり、ご利用の際にはLINEアプリからの登録が必要となります。イケビでは電動スポーツタイプを3台、電動ファットバイク1台の貸し出しを行っていて、利用者の方から「坂道も楽に走れますよ!」とお声をいただきます。すでにリピーターの方もいらっしゃいます。市内4か所、ディスプレイ南魚沼、南魚沼市図書館、大原運動公園、イケビで11月30日まで貸出中です。早速、私も登録をしたので、お天気が良いときにでも利用したいと思っています。(山口加奈子)

## 7月15日までクラウドファンディングを実施! ご支援をお願い申し上げます

イケビは地域との新たな連携プロジェクトをスタートします  
地域に愛される美術館として、子どもたちが主役の文化活動を推進します

池田記念美術館は、美術館の内と外を自在に行き来しながら、地域と連携した美術館を築きたいと考えています。閉じられた美術館ではなく、内と外に開かれた美術館として、子どもたちや地域の皆様に創造性と多様性について実感してもらい、未来に生きる力を育むことができれば……それが当館の願いです。

これまでも、地元に着した美術館として、これからの未来を担う子どもたちを育てる活動に重きをおいてきました。その背景には「地域と連携した美術館として、アートを通して子どもたちの感性を磨く場所をつくるのが私たちの使命だ」という開館以来の考えがありました。

たとえば、現代美術の作家や大学教授を講師として招き、出前授業を実施したり、子どもたちが本物の美術品に触れながら、自由にのびのびと対話を交わす哲学対話教室などを実施してきました。

今後、さらにその活動を活性化させていきたいと考え、2022年は、新しく子どもたちを主役にした地域連携プロジェクトに挑戦することにいたしました。

これまでのアウトリーチ事業(出前授業、スキー場に風ぐるま3500本の設置、草むら迷路に作家の妖怪作品を展示、哲学対話教室、雪の錯覚すべり台制作など)をさらに充実・拡大するとともに、子どもたちや地域住民の皆様と一体になって、新たな事業をスタートしたいと考えています。

美術館は作品展示の場ではありませんが、同時に作品を媒介に思考・対話する教育現場でもあり、地域との相互関係を通じて互いに切磋琢磨しつつ未来の地域づくりの役割を担う場でもあります。そのためにも、積極的に「美術館の外」に出てさまざまな事業を展開していきたいと考えています。

どうか、皆様からの温かいご支援をお願いしますと幸いです。

(池田記念美術館館長・高橋良一)

# 《池田記念美術館一展覧会・イベント情報》

## ■第23回八海山夢展 【同時開催】第5回八海山ジュニア展

◎会期：7月16日(土)～8月29日(月)

地元の美術愛好家を中心に、絵画・書道・写真・水石・工芸の5部門約100人が出展。魚沼の暮らしや風景を見つめる人たちの展覧会です。また、昨年度の新潟県ジュニア美術展覧会に入賞した南魚沼市と魚沼市の児童生徒の作品を展示します。

■関連イベント (参加希望の方は美術館へお申込みください)

- ①絵画部門……7月16日・8月6日(土) 実演13時～ 解説14時～
- ②陶芸体験教室……7月30日(土) 10時～12時 参加費：1,000円(入館料込み)
- ③その他、「写真撮影会」や「うちわづくり体験」を予定しています。詳細は美術館へお問合せください。

### ■なぜクラウドファンディングを実施するのか

当館では、2022年度の事業計画を実施するにあたり、大きな経費がかかる企画展を複数抱えています。昨今のコロナ禍の中で美術館運営は厳しい状況にあり、企画展自体は企画事業費として予算計上しているため予定通り実施可能ですが、新しいプロジェクトに挑戦するための予算は、正直に申し上げて十分ではありません。

前述の通り、アウトリーチ事業は当館の未来構想において重要な位置を占めており、この事業をおろそかに扱うことはしたくありません。そして、単年度だけで終わらせるものではなく、次年度以降も持続・発展させていく必要がある事業です。今年度は、そのための基礎づくりであると考えています。

そこで、今後の美術館運営の将来を見据えて、アウトリーチ事業を持続的に実施していくための資金調達の足がかりとしてクラウドファンディングを実施することにしました。

### ■今後新たに実施するアウトリーチ事業

#### ①「夏休み子ども美術学校」を開設

夏休み期間を中心に、県内外で活躍している作家を招き、美術館や八色の森公園、八海山麓スキー場などを会場に「夏休み子ども美術学校」を開設し、自然に触れながら造形活動のワークショップを開催します。子どもたちが制作した作品は秋の「八色の森の美術展」でプロの作品と一緒に共同展示します。

#### ②高校生の活動を支援

SDGsを探究している高校生を支援し、来年度以降に「高校生目線の展覧会」を実施するべく、その準備を開始します。高校生から企画立案してもらってユニークな展覧会を実現したいと思います。

#### ③野外美術展を開催

八色の森公園や八海山麓スキー場など屋外での野外美術展開催に向けて準備を開始し、プレイベントとして県内在住の作家による野外展を今秋以降に開催します。

## ■スポーツ&ライフ南魚沼「文化教室」→詳細は美術館へお問合せください。

- 美文字講座ーペン字(全3回) 講師：富所白象さん(書道家)  
日程①火曜日・7月19日、8月16日、9月20日 19時～20時30分  
②水曜日・7月20日、8月17日、9月21日 13時～14時30分  
料金：3,300円(参加費3,000円+教材費300円)
- 美文字講座ー基本の書道(全3回) 講師：富所白象さん(書道家)  
日程：水曜日・7月20日、8月17日、9月21日 15時～16時30分  
料金：3,300円(参加費3,000円+教材費300円) 定員：12名
- 夏のフラワーアレンジメント講座(全3回) 講師：馬場久美子さん(福井屋花店)  
日程：水曜日・6月15日、7月20日、8月17日 19時～20時30分  
料金：10,500円(花代含む) 定員：12名

### ■6月、7月、8月の休館日

【6月】1日、8日、15日、22日、29日(水曜日)  
【7月】6日、20日、27日(水曜日)、10日(日)  
は15時閉館、※11日(月)～15日(金)は  
展示替えのため臨時休館  
【8月】8月3日、10日、17日、24日(水曜日)、  
29日(月)は15時閉館、※30日(火)～9  
月2日(金)は展示替えのため臨時休館

## 公園の中の美術館 池田記念美術館

〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐5493-3 八色の森公園内  
TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815

【開館時間】9:00～17:00(入館受付は16:30まで)

【休館日】毎週水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、展示替えによる臨時休館

【入館料】一般 500円 高校生以下無料(団体割引、各種割引あります)

【ホームページ】<http://www.ikedart.jp>



イケビふれあい通信

次号(秋号)は  
8月発行予定

アクセス

上越新幹線JR浦佐駅東口より約1km、徒歩15分  
関越自動車道大和スマートICより車3分  
六日町ICより車15分、小出ICより車10分